

大阪カジノに反対する市民の会	2018年10月29日 第 1 号
ニュースレター	連絡先 〒560-0022 豊中市北桜塚4-16-17 西澤信善 Fax06-6843-0761 HP: https://nocasino.net/ メール info@nocasino.net

本会の第一回総会が2018年9月8日、豊中市立蛭池公民館で開かれました。総会は大阪カジノに反対するスタート集会でもあり、120名を超す参加者が集まり、趣意書、会則、役員（HPで紹介）を決め、会は船出しました。

この集会には下記の団体・個人からメッセージや激励の言葉をいただきました。（敬称略）

スピーチをいただいた 団体

あったかファミリー運動 川本充佐子代表
あかん！カジノ女性アピール 中野冬美
カジノ問題を考える大阪ネットワーク桜田代表
泉佐野市政をよくする会 竹崎博一代表
平和と民主主義をめざす

全国交歓会・豊中 山田敏正代表
大阪いちょうの会 川内泰雄事務局長
(大阪クレサラ・貧困被害をなくす会)
カジノはいらない！ネットワーク・常滑
代表 西本真樹

メッセージをいただいた団体・個人

カジノ誘致に反対する苦小牧市民の会
大阪市をよくする会
平和と民主主義をともにつくる会・かながわ
カジノ誘致に反対する小樽市民の会
市民グループ「緑の大阪」
東京・足立区議会議員／土屋のりこ
佐世保「カジノ誘致問題を考える市民の会」
カジノ問題を考える和歌山ネットワーク

集会はその後、吉田哲也 弁護士（日弁連カジノギャンブル問題検討ワーキンググループ、全国カジノ賭博場反対連絡協議会事務局長、依存症問題対策全国会議事務局長）による「大阪カジノを阻止する展望」と題した講演を聞きました。

最後に あったか演劇研究会 山口千英子さんによる 百人一首のパロディでリラックスし、閉会しました。参加下さった皆様！有難うございました！

君がため 夢洲に出でてカジノする わが懐に雪は降いつつ

ご指導ご支援をどうぞ宜しくお願い申し上げます。

**なんであかんカジノ
シリーズ学習会**

11月25日(日)午後1時半～
豊中市立福祉会館
講師 松尾匡(立命館大学経済学部教授)
「高齢化時代のIRによる介護不足」
武田かおり(NPO 法人 AM 社事務局長)
「万博・IRカジノより災害対策を」
参加 自由・無料 ぜひ本会に入会を



9/8スタート集会の全景

ご挨拶

なぜ、私はカジノ誘致に反対するのか

大阪カジノに反対する市民の会代表・神戸大学名誉教授 西澤信善

私がギャンブル問題にはじめて関心をもったのは 2010 年代の初めの頃でした。丁度その頃、橋下大阪府知事（当時）が沈滞する関西経済をカジノで活性化する構想を打ち上げていました。直感的に「これは危険ではないか」という思いが頭をよぎりました。それから本格的にギャンブル問題を調べるようになりました。厚生労働省は 2014 年、依存症患者の数を 536 万人と発表していました。536 万人とは大量現象で、これは大変な社会問題と認識しました。実際、調べてみるとギャンブルはさまざまな弊害を引き起こしていることが分かりました。カジノ推進論者はそれらを上回る経済効果があるといいます。しかし、カジノ業者の巨額の売り上げは「巻き上げた金」のことですから、そんなものは経済効果とはみなせません。調べていくうちに分かってきたことですが、ギャンブルの本当の怖いところは「金を巻き上げられ、貧窮化すること」と認識するようになりました。

ギャンブルの本質はその時々で金銭を争うものです。うまく説明できませんが、ギャンブルは胴元が勝つようになっています。これは経験則です。賭けで負けると何とか取り戻そうと深みに嵌ってしまいます。たまに勝てばその快感が忘れられずに繰り返しやるようになります。要するに勝っても負けてもギャンブルの魔界に引きずり込まれてしまうのです。すべての人がそうだというわけではありませんが、ある一定の割合でそういう人がいるのです。ギャンブルでは金を巻き上げられ貧窮化します。これが人をおかしくし、苦しめるのです。人がギャンブルの深みに嵌るといくらお金があっても

足りません。お決まりのコースは借金です。借金がかさむとその重圧に耐えきれずうつ病を発症させている人も珍しくはありません。ギャンブルする金の欲しさに犯罪に走るケースも多々あります（警察庁発表）。最悪の場合は、自殺に至ります。ギャンブルの世界は、その行き着く先が、病院か、刑務所か、棺桶かという世界です。

2018 年の夏は、地震、豪雨、猛暑そして巨大台風といった「自然災害」に苦しめられました。これらの災害によって甚大な被害を出しました。私はギャンブルが引き起こす様々な弊害すなわち窮乏化、借金、多重債務、家庭崩壊、依存症、犯罪、自殺などを「社会災害」とみなすべきと提唱しています。「自然災害」であれ「社会災害」であれ、自治体の本来の使命は災害がもたらす被害を最小化あるいはなくすことです。いま自治体としての大阪府や市は「統合型リゾート」の名の下でカジノ誘致の準備を着々と進めています。しかも万博とセットにして推進していますから、不評のカジノは「統合型リゾート」と万博の陰に隠れてしまっています。カジノを誘致するということは、自治体が災害をばらまくようなものです。これが自治体の本来の使命に反することは明らかです。カジノを誘致して経済の活性化を図るなど、空疎な絵空事に過ぎません。何としてでもカジノ誘致はストップしなければなりません。私たちはその思いで「大阪カジノに反対する市民の会」を立ち上げました。何卒、皆様方のご支援を賜りますよう切にお願い申し上げます。

リレートーク カジノと国際観光

大阪大学名誉教授・元衆議院議員 熊谷貞俊

大阪カジノに反対する市民の会顧問の熊谷です。今から8年前、2010年4月、超党派議員連盟である“国際観光産業振興議員連盟”の結成時に、時の政権与党民主党の重鎮、鈴木克昌議員から加入を強く勧められたことがありました。観光産業振興を目指す趣旨なら大賛成なので、準備会合に出席しましたところ、実はこの議員連盟は、民間カジノ解禁を目論むものであることがわかり、強硬な勧誘にもかかわらず、私は断固加入を拒否しました。

世界中の有名なリゾートカジノでの経験から、そもそも観光振興とカジノ賭博とはなんの関係もないこと、世界有数の観光エリアには、美術館、博物館、オペラハウス、コンサートホール、寺院などの歴史的建造物、数々の自然遺産や史跡が豊富であることが当然ですが、その中でカジノは決して必須のアイテムではないことは、パリやロンドンなどの格調高い大都市を訪れば明らかでしょう。

美しい自然や歴史的な観光資源に恵まれ、さらには温泉や本物のホスピタリティーに溢れたこの日本で国際観光客が今ひとつなのはなぜか、当時、関心のある議員仲間と議論したことが思い出されますが、その後、数年足らずで外国人（とくに日本での買い物かねた中国人）観光客の激増というありがたい事態となり、まさにカジノと国際観光とは全く関係ないということが実証されたわけです。これからもさらに着実に外国人観光客を引きつけていくためには、行政は音楽、美術などの芸術やスポーツ、科学技術で世界から尊敬され、魅力をもたれる都市づくりに注力することが肝心でしょう。

外国人のみならず、その都市に住む市民の生活の質と文化度を高め、日本国内からも一度住んでみたいと憧れられるように都市格（人格に対応する大西正文氏の造語）を高めることを目指すべきで、いわんやカジノ賭博場を誘致するなどもってのほかです。

さらに、無人の人工島にカジノを含む巨大な施設を新たに建造し運営していくためには巨額なインフラ投資（約1.5兆円）が必要となります。当初、カジノ事業者が全額投資するとの甘い言葉に有頂天になった大阪府・市行政（とくにその首長）も最近になって、そんなにうまい話でないことがわかってきて、インフラ費用捻出の口実作りに必死のようですが、住民に谁的の利便をもたさず、また将来的に極めて不安定な投資効果しか期待できないカジノ誘致に府・市民の税金が投入されるとなると、まともな頭でカジノ場誘致に賛成する人はいないと思います。

現在でも、マスコミの世論調査によりますと府・市民の反対が7割もあることは、まさにこの事実を物語っていると思います。本会の設立趣意書にもありますように、パチンコを主として、すでに様々なギャンブル大国であるこの日本に、さらなる重大な弊害をもたらしてまで民営カジノを誘致する最大の理由、すなわち（1）観光産業振興、（2）必要なインフラ整備には府・市民の税金でなくカジノ事業者の投資金が使われる、（3）カジノからは十分な収益が期待でき、税収も上がる、のいずれもが根拠のないものです。政府、大阪府・市がカジノ誘致にこれほど前のめりなのは何か別の後ろ暗い理由があるのではと勘ぐりたくもなります。

2018年7月に実施法が可決されましたが、誘致自治体の申請には議会承認が必要となります。住民に負担ばかりで、谁的の便益ももたささない大阪カジノ誘致に反対する市民の皆様のおかげで、来年4月の統一地方選では一人でも多くのカジノ反対議員を当選させ、アメリカカジノ事業者との結託が疑われる売国議員や忖度議員を落選させるべく、志を同じくする他の市民連合との大連携で一大キャンペーンを繰り広げ、勝ち抜いていきましょう。ご支援よろしくお願い致します。

大阪カジノに反対する市民の会からのお知らせとお願い

①入会金納入のお願い

メールやファックスで入会を申し込まれた方など、入会金がまだの方は、下記のゆうちょ銀行振替口座に入会金1000円を振り込んでください。恐れ入りますが、振込手数料も負担して下さい。

口座記号番号 00920-8-323421

口座名称(漢字)大阪カジノに反対する市民の会

口座名称(カナ)オオサカギノニハンタイシツシカイ

店名(店番)	預金種目	口座番号
〇九九店(099)	当座	0323421

他銀行から振込む際は下記を指定してください。

②ホームページを開設しました。

アドレスは <https://nocasino.net/> です。近々、「大阪カジノに反対する市民の会」で検索できます

ホームページやフェイスブックの管理・更新の協力スタッフを募集しています。

③大阪カジノ反対署名集めにご協力を

大阪カジノに反対する署名活動を始めました。署名用紙を同封しています。メールやファックスでも受付しています。

④ニュースレター配布にご協力を

このニュースレターは、メール、ファックス、郵便、手配りなど、出来るだけ少ない経費で配布する予定です。そこで、パソコンメールを利用されている方はアドレスをお知らせください。ご近所の会員に手配りしていただける方は、ご連絡ください。会報編集委員も募集しています。

⑤あかんやろ！カジノ女性パレード(男性歓迎)

日時 11月18日(日)2時半新町北公園集合
(元厚生年金会館前地下鉄四つ橋駅下車)

3時パレード出発、難波まで。4時頃解散。
音楽や歌などで、沿道の人にも楽しくアピールする演出を考える。

共催・女性ネットワーク@おおさか

・「あかん！カジノ」女性アピール

協賛・大阪を知り考える市民の会

・どないする大阪の未来ネット

・大阪カジノに反対する市民の会

趣旨 万博開催地が決定される直前に「大阪にカジノ万博いらない」の声をアピールする。マスコミにも取り上げてもらう。女性が呼びかけるが、男性の参加も大歓迎。

⑥入会者の勧誘にご協力を

「カジノ反対」の声を強く、大きくするために千人以上を目標に会員を募集しています。入会金1000円必要ですが、会費はありません。

会務報告(2018年10月28日現在)

会員214名

収入	支出	残高
230,730円	-105,793円	=124,937円